

18世紀、京都。 凄い絵師は若冲だけではなかった。

18世紀の京都には、近年特に人気が高まっている伊藤若冲(1716-1800)をはじめ、多くの画家が活躍しました。そのなかで、円山応挙(1733-1795)は、現在の京都府亀岡市で生まれ、狩野派の流れをくむ鶴澤派の画家・石田幽汀(1721-86)に入門し、狩野派の基礎を学んだ後、滋賀県大津市にある円満院門跡の祐常門主の支援を得て、「写生」を重視した絵画に取り組み人気を得ます。さらに、「写生」を基本としながらも、現実には存在しない龍や、見たこともない中国の風景や人物などを描くことに挑戦しました。

応挙の弟子である長沢芦雪(1754-99)は、応挙とは違う独自の作風を追求し、本物よりも大きなサイズで虎を描いた「虎図襖」(和歌山・無量寺)や、3cm四方の紙にたくさんの羅漢を描いた「五百羅漢図」など、ユニークな作品を数多く残しています。本展覧会では、円山応挙と長沢芦雪の作品を展示し、ふたりの画風の変化や、同じ題材を描いた作品なども比較して、ふたりの画家の魅力に迫ります。



1.円山応挙「双鶴図」福田コレクション蔵／2.円山応挙「仔犬図」個人蔵／3.長沢芦雪「牡丹孔雀図」下御霊神社蔵／4.円山応挙「富士巻狩図屏風(左隻)」福田コレクション蔵／5.長沢芦雪「梅花双狗図」個人蔵

Event

4/25[+] 10:30-16:30

リレー講座「朝から一日、江戸絵画」

講師：岡田秀之(当館学芸課長)ほか
無料(入館料のみ)

5/16[土] 14:00-15:00

吉海直人先生(同志社女子大学教授)

講演会「近代の嵯峨嵐山と小倉百人一首」

無料(入館料のみ)

5/30[+] 午前の部 / 11:00-12:00 午後の部 / 15:00-16:00

BOX&NEEDLEによる
「クラフトで生印帳ワークショップ」

5/30[+] 10:00-15:30

森本玄先生(画家・京都芸術大学教授)

鉛筆デッサン「いちから学ぶ写生講座」

参加費¥500

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、
イベントは中止となりました

※詳しくはHPをご参照下さい。

【交通アクセス】当館には駐車場がありません。公共交通機関をご利用ください。

- JRでお越しの場合：山陰本線(嵯峨野線)で嵯峨嵐山駅下車、徒歩14分
 - 阪急でお越しの場合：嵐山線で嵐山駅下車、徒歩13分 ● 嵐電(京福電鉄)でお越しの場合：嵐山本線で嵐山駅下車、徒歩5分
- 〒616-8385 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 Tel:075-882-1111



嵯峨嵐山文華館
Saga Arashiyama Museum of Arts and Culture



beyond
2020
京都文化力

